

令和 6 年度		工 事 設 計 書	
工 事 名	修繕小穴舗装本復旧工事		
工 事 場 所	坂戸市西坂戸5-5-16番地先 外76箇所		
工 期	契 約 日 ~ 令和6年10月31日		
設 計 金 額	金 円也		
工 事 概 要	打換平積760.7㎡ 計77箇所（人力施工）		
	坂戸市道（47箇所）打換平積456.0㎡		
	車道 t =5cm（再生密粒度As 5cm）	447.90㎡	46箇所
	車道 t =7cm（再生密粒度As 7cm）	8.06㎡	1箇所
	鶴ヶ島市道（29箇所）打換平積290.8㎡		
	車道 t =3cm（再生細粒度As 3cm）	9.23㎡	3箇所
	車道 t =5cm（再生密粒度As 5cm	221.05㎡	22箇所
	車道 t =10cm（再生密粒度As 5cm、再生密度As 5cm）	15.10㎡	1箇所
	車道 t =12cm（再生密粒度As 5cm、再生粒度As 7cm）	45.42㎡	3箇所
	県道（1箇所）打換平積13.9㎡		
	車道 t =12cm（再生密粒度As 5cm、再生粗粒度As 7cm）	13.90㎡	1箇所

工 事 年 度	令和 6 年度
工 事 名	修繕小穴舗装本復旧工事
変 更 回 数	
諸 経 費 区 分	公共 令和04年度
工 種 区 分	舗装工事
単 価 適 用 年 月 日	令和06年03月01日付 公共
単 価 地 区	県南(飯能県土整備)
機 損 適 用 年 月 日	令和05年10月以降適用
歩 掛 適 用 年 月 日	令和05年10月 公共 / 令和05年10月 上水道
材 料 単 価 適 用 年 月	令和05年10月付 水道材料単価
備 考	

総括表					
費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	明細単価番号 基準
工事費	1	式			
本工事費	1	式			
舗装工事	1	式			
合計					

本工事費内訳書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準
舗装工事	1	式			
準備工	1	式			明 1 号
舗設工	1	式			明 2 号
区画線工	1	式			明 3 号
直接工事費計					
共通仮設費計	1	式			
共通仮設費(率化)	1	式			
共通仮設費率分	1	式			
純工事費	1	式			
現場管理費	1	式			
工事原価	1	式			
一般管理費等	1	式			
工事価格	1	式			
消費税等相当額	1	式			

修繕小穴舗装本復旧工事

第 1 号 明細書			準備工			1 式 当り	
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準		
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	422.2	m			P 1 号		
アスファルト切断濁水処分費 中間処理後、最終処分場に搬入 処理に焼却含まず	0.6	m3					
アスファルト切断濁水運搬費 積載量2t 運搬距離 15kmまで	1	台					
バックホウによる舗装版直接掘削・積込 舗装厚0cm超え10cm以下 バックホウ 1台 山積0.28m3	701.4	m2			代 1 号		
バックホウによる舗装版直接掘削・積込 舗装厚10cm超え15cm以下 バックホウ 1台 山積0.28m3	59.3	m2			代 2 号		
アスファルト塊・コンクリート塊(無筋)運搬費 ダンプトラック4t積級 運搬距離4.5km DID区間有り バックホウ 1台 山積0.28m3	42.9	m3			代 3 号		
廃材持込料 As廃材 飯能県土整備事務所	100.8	t					
不陸整正工(施工幅1.8m未満)(1層当り) 整正厚0.01m 再生粒調碎石 40～0mm	751.5	m2			代 4 号		
不陸整正工(施工幅1.8m未満)(1層当り) 整正厚0.01m 再生切込碎石 40～0mm	9.2	m2			代 5 号		
交通誘導警備員 B		人					
計							

修繕小穴舗装本復旧工事

第 2 号 明細書		舗設工				1 式 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準	
表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚50mm 再生密粒度アスコン(13) 平均幅員1.4m未満 フライコート 締固密度2.35	684.1	m2			P 2 号	
表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚70mm 再生密粒度アスコン(13) 平均幅員1.4m未満 フライコート 締固密度2.35	8.1	m2			P 3 号	
表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚30mm 再生細粒度アスコン(13) 平均幅員1.4m未満 フライコート 締固密度2.30	9.2	m2			P 4 号	
表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚50mm 再生密粒度アスコン(13) 平均幅員1.4m未満 タックコート 締固密度2.35	74.4	m2			P 5 号	
基層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚70mm 再生粗粒度アスコン(20) 平均幅員1.4m未満 フライコート 締固密度2.35	59.3	m2			P 6 号	
計						

第 3 号 明細書

区画線工

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準
区画線設置 溶融式手動 実線 15cm 塗布厚1.5mm 白 昼間 時間制約無	180.8	m			代 6 号
区画線設置 溶融式手動 実線 45cm 塗布厚1.5mm 白 昼間 時間制約無	1.8	m			代 7 号
区画線設置 溶融式手動 実線 15cm 塗布厚1.5mm 黄 鉛・加減リ-	209.6	m			代 8 号
溶融式区画線工 赤・緑・青 1.5mm厚 50m2未満	0.8	m2			
区画線設置 溶融式手動 矢印・記号・文字15cm 塗布厚1.5mm 白 昼間 時間制約無	19.6	m			代 9 号
計					

修繕小穴舗装本復旧工事

[illegible]

修繕小穴舗装本復旧工事

[illegible]

修繕小穴舗装本復旧工事

[illegible]

修繕小穴舗装本復旧工事

[illegible]

修繕小穴舗装本復旧工事

[illegible]

修繕小穴舗装本復旧工事

<div> <div>第 6 号 代価表</div> <div> 区画線設置 溶融式手動 実線 15cm 塗布厚1.5mm 白 (昼間 時間制約無 ,) </div> </div>					
					1,000 m 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準
区画線設置(溶融式) 昼間 豪雪無 実線15cm 制約無	1,000	m			
トラフィックペイント 溶融型 3種1号 ビーズ15～18 白	570	kg			
ガラスビーズ 0.106～0.850mm	25	kg			
接着用プライマー 区画線用	25	kg			
軽油		l			
諸 雑 費 (率+丸め) 材料費の%		%			
計					
単位当たり					

第 7 号 代価表

区画線設置 溶融式手動 実線 45cm 塗布厚1.5mm 白
(昼間 時間制約無 ,)

1,000 m 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準
区画線設置(溶融式) 昼間 豪雪無 実線45cm 制約無	1,000	m			
トラフィックペイント 溶融型 3種1号 ビーズ15～18 白	1,700	kg			
ガラスビーズ 0.106～0.850mm	75	kg			
接着用プライマー 区画線用	75	kg			
軽油		l			
諸 雑 費 (率+丸め) 材料費の%		%			
計					
単位当たり					

第 8 号 代価表

区画線設置 溶融式手動 実線 15cm 塗布厚1.5mm 黄 鉛・鉛フリー
(昼間 時間制約無 ,)

1,000 m 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準
区画線設置(溶融式) 昼間 豪雪無 実線15cm 制約無	1,000	m			
トラフィックペイント 溶融型 3種1号 ビーズ15~18 黄 鉛・フリー	570	kg			
ガラスビーズ 0.106~0.850mm	25	kg			
接着用プライマー 区画線用	25	kg			
軽油		l			
諸 雑 費 (率+丸め) 材料費の%		%			
計					
単位当たり					

修繕小穴舗装本復旧工事

<div> <div>第 9 号 代価表</div> <div> 区画線設置 溶融式手動 矢印・記号・文字15cm 塗布厚1.5mm 白 (昼間 時間制約無 ,) </div> <div>1,000 m 当り</div> </div>					
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準
区画線設置(溶融式) 昼間 豪雪無 矢印・記号・文字 制約無	1,200	m			
トラフィックペイント 溶融型 3種1号 ビーズ15～18 白	684	kg			
ガラスビーズ 0.106～0.850mm	30	kg			
接着用プライマー 区画線用	30	kg			
軽油		l			
諸 雑 費 (率+丸め) 材料費の%		%			
計					
単位当たり					

修繕小穴舗装本復旧工事

<div> <div>第 1 号 施工パッケージ</div> <div>舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下</div> <div>1 m 当り</div> </div>						
名 称 ・ 規 格	金額 構成 比(%)	金 額	構成 比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基 準
【機械】						
コンクリートカッタ[ハ・ホーム式・湿式] 径 56cm 切削深20cm級						
その他(機械)						
【労務】						
特殊作業員						
土木一般世話役						
普通作業員						
その他(労務)						
【材料】						
コンクリートカッタ (ブレ - ド) 径22インチ						
ガソリン レギュラー スタンド 価格						
その他(材料)						
【端数調整】						
[条件] [J1] = 1 舗装版種別 アスファルト舗装版 [J5] = 1 費用の内訳 全ての費用				[J2] = 1 アスファルト舗装版厚 15cm以下		

修繕小穴舗装本復旧工事

<div> <div>第 2 号 施工パッケージ</div> <div> 表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚50mm 再生密粒度アスコン(13) (平均幅員1.4m未満 , プライムコート 締固密度2.35) </div> <div>1 m2 当り</div> </div>						
名 称 ・ 規 格	金額 構成 比(%)	金 額	構成 比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基 準
【機械】						
振動ローラ(舗装用) ハンドガイト式 運転質量0.5～0.6t						
振動コンパクタ[前進型] 機械質量40～60kg						
その他(機械)						
【労務】						
特殊作業員						
普通作業員						
土木一般世話役						
その他(労務)						
【材料】						
再生アスファルト混合物 再生密粒度アスコン(13)						
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用						
ガソリン レギュラー スタンド価格						
軽油						

[illegible]

修繕小穴舗装本復旧工事

<div> <div>第 3 号 施工パッケージ</div> <div> 表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚70mm 再生密粒度アスコン(13) (平均幅員1.4m未満 , プライムコート 締固密度2.35) </div> <div>1 m2 当り</div> </div>						
名 称 ・ 規 格	金額 構成 比(%)	金 額	構成 比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基 準
【機械】						
振動ローラ(舗装用) ハイドロリック式 運転質量0.5～0.6 t						
振動コンパクタ[前進型] 機械質量40～60kg						
その他(機械)						
【労務】						
特殊作業員						
普通作業員						
土木一般世話役						
その他(労務)						
【材料】						
再生アスファルト混合物 再生密粒度アスコン(13)						
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用						
ガソリン レギュラー スタンド 価格						
軽油						

[illegible]

修繕小穴舗装本復旧工事

<div> <div>第 4 号 施工パッケージ</div> <div> 表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚30mm 再生細粒度アスコン(13) (平均幅員1.4m未満 , プライムコート 締固密度2.30) </div> <div>1 m2 当り</div> </div>						
名 称 ・ 規 格	金額 構成 比(%)	金 額	構成 比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基 準
【機械】						
振動ローラ(舗装用) ハイドロリック式 運転質量0.5～0.6 t						
振動コンパクタ[前進型] 機械質量40～60kg						
その他(機械)						
【労務】						
特殊作業員						
普通作業員						
土木一般世話役						
その他(労務)						
【材料】						
再生アスファルト混合物 再生細粒度アスコン(13)						
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用						
ガソリン レギュラー スタンダード 価格						
軽油						

[illegible]

修繕小穴舗装本復旧工事

<div> <div>第 5 号 施工パッケージ</div> <div> 表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚50mm 再生密粒度アスコン(13) (平均幅員1.4m未満 ,タックコート 締固密度2.35) </div> <div>1 m2 当り</div> </div>						
名 称 ・ 規 格	金額 構成 比(%)	金 額	構成 比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基 準
【機械】						
振動ローラ(舗装用) ハイドロリック式 運転質量0.5～0.6t						
振動コンパクタ[前進型] 機械質量40～60kg						
その他(機械)						
【労務】						
特殊作業員						
普通作業員						
土木一般世話役						
その他(労務)						
【材料】						
再生アスファルト混合物 再生密粒度アスコン(13)						
アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用						
ガソリン レギュラー スタンド 価格						
軽油						

[illegible]

修繕小穴舗装本復旧工事

<div> <div>第 6 号 施工パッケージ</div> <div> 基層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚70mm 再生粗粒度アスコン(20) (平均幅員1.4m未満 , プライムコート 締固密度2.35) </div> <div>1 m2 当り</div> </div>						
名 称 ・ 規 格	金額 構成 比(%)	金 額	構成 比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基 準
【機械】						
振動ローラ(舗装用) ハンドガイト式 運転質量0.5～0.6t						
振動コンパクタ[前進型] 機械質量40～60kg						
その他(機械)						
【労務】						
特殊作業員						
普通作業員						
土木一般世話役						
その他(労務)						
【材料】						
再生アスファルト混合物 再生粗粒度アスコン(20)						
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用						
ガソリン レギュラー スタンド 価格						
軽油						

[illegible]

準備工

[illegible]

[illegible]

準備工

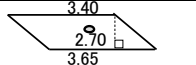
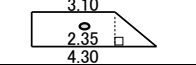
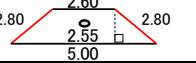
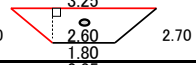
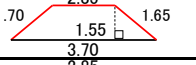
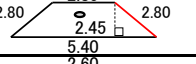
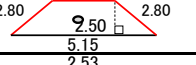
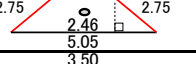
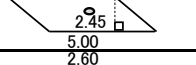
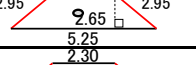
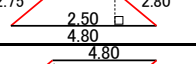
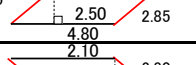
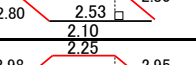
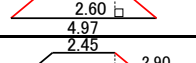
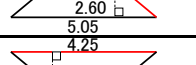
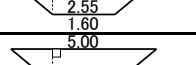
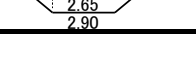
[illegible]

[illegible]

修繕小穴舗装本復旧箇所一覧(緊急掘削等)

坂戸市道

NO	届出区分 文書番号	場 路 線 番 所 号	道路種別	面積(㎡)	復 旧 組 成	カッター形状	カッター 延長 (m)	線 ・ 文 字 等	修繕内容 修繕番号	工事
1	緊急掘削届出書 坂水施発第513号	坂戸市西坂戸5-5-16番地先 市道5366号線	車道	13.26	再生密粒度As 5cm		2.50	なし	分水栓漏水 5235	半面
2	緊急掘削届出書 坂水施発第55号	坂戸市西坂戸4-26-11番地先 市道5356号線	車道	4.40	再生密粒度As 5cm		2.47	なし	分水栓漏水 5319	半面
3	緊急掘削届出書 坂水施発第524号	坂戸市西坂戸3-22-25番地先 市道5348号線	車道	16.28	再生密粒度As 5cm		9.88	なし	止水栓漏水 5269	全面
4	緊急掘削届出書 坂水施発第528号	坂戸市西坂戸3-22-25番地先 市道5348号線	車道	5.83	再生密粒度As 5cm		6.53	なし	止水栓漏水 5269	半面
5	緊急掘削届出書 坂水施発第32号	坂戸市西坂戸1-4-10番地先 市道5388号線	車道	5.96	再生密粒度As 5cm		5.50	なし	分水栓漏水 5303	半面
6	緊急掘削届出書 坂水施発第338号	坂戸市西坂戸1-4-3番地先 市道5387号線	車道	21.85	再生密粒度As 5cm		11.70	白線 15 cm × 8.50 m	止水栓漏水 5148	全面
7	緊急掘削届出書 坂水施発第373号	坂戸市鶴舞3-5-5番地先 市道4122号線	車道	9.02	再生密粒度As 5cm		10.80	白線 15 cm × 3.40 m 白線 45 cm × 1.80 m 控除分0.16 (標識基礎部分)	止水栓漏水 5147	全面
8	道路一時掘削届書 坂水施発第204号	坂戸市浅羽野3-6-4番地先 市道4026号線	車道	10.12	再生密粒度As 5cm		5.70	白線 15 cm × 3.90 m 黄線 15 cm × 7.00 m 控除分0.28 (消火栓φ600)	消火栓室調整工事 5103	半面
9	道路一時掘削届書 坂水施発第204号	坂戸市浅羽野3-8-22番地先 市道4031号線	車道	11.62	再生密粒度As 5cm		9.40	黄線 15 cm × 7.20 m 控除分0.28 (消火栓φ600)	消火栓室調整工事 5103	半面
10	道路一時掘削届書 坂水施発第204号	坂戸市浅羽野3-5-9番地先 市道4029号線	車道	10.53	再生密粒度As 5cm		5.85	白線 15 cm × 4.00 m 黄線 15 cm × 6.95 m 控除分0.20 (消火栓φ500)	消火栓室調整工事 5103	半面
11	道路一時掘削届書 坂水施発第204号	坂戸市浅羽野3-5-2番地先 市道4025号線	車道	10.24	再生密粒度As 5cm		8.55	白線 15 cm × 4.20 m 黄線 15 cm × 7.10 m 控除分0.28 (消火栓φ600)	消火栓室調整工事 5103	半面
12	道路一時掘削届書 坂水施発第204号	坂戸市浅羽野2-9-5番地先 市道4022号線	車道	9.91	再生密粒度As 5cm		5.60	黄線 15 cm × 6.95 m 控除分0.28 (消火栓φ600)	消火栓室調整工事 5103	半面
13	道路一時掘削届書 坂水施発第3号	坂戸市大字浅羽900-2番地先 市道3645号線	車道	17.08	再生密粒度As 5cm		10.00	白線 15 cm × 3.85 m 黄線 15 cm × 6.25 m 控除分0.28 (消火栓φ600)	消火栓室調整工事 5336	全面
14	道路一時掘削届書 坂水施発第3号	坂戸市大字浅羽935-4番地先 市道3645号線	車道	17.08	再生密粒度As 5cm		4.90	白線 15 cm × 4.45 m 黄線 15 cm × 6.85 m 控除分0.28 (消火栓φ600)	消火栓室調整工事 5336	全面
15	道路一時掘削届書 坂水施発第204号	坂戸市浅羽野1-2-1番地先 市道4221号線	車道	10.22	再生密粒度As 5cm		5.95	白線 15 cm × 5.20 m 黄線 15 cm × 6.85 m 控除分0.28 (消火栓φ600)	消火栓室調整工事 5103	半面

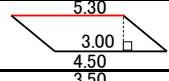
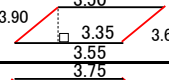
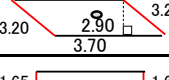
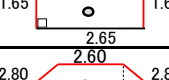
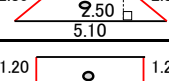
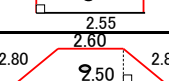
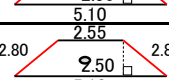
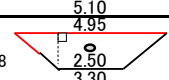
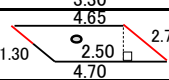
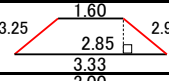
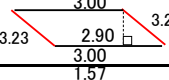
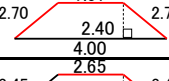
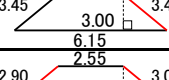
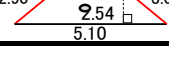

16	道路一時掘削届書 坂水施発第204号	坂戸市三光町53-2番地先 市道3646号線	車道	9.24	再生密粒度As 5cm		0.00	白線 15 cm × 2.55 m 黄線 15 cm × 6.00 m 控除分0.28 (消火栓 φ 600)	消火栓室調整工事 5104	半面
17	道路一時掘削届書 坂水施発第204号	坂戸市中富町68-45番地先 市道3779号線	車道	8.42	再生密粒度As 5cm		0.00	白線 15 cm × 3.25 m 黄線 15 cm × 4.90 m 控除分0.28 (消火栓 φ 600)	消火栓室調整工事 5104	半面
18	道路一時掘削届書 坂水施発第204号	坂戸市中富町68-11番地先 市道3773号線	車道	9.41	再生密粒度As 5cm		5.60	白線 15 cm × 3.90 m 黄線 15 cm × 6.80 m 控除分0.28 (消火栓 φ 600)	消火栓室調整工事 5104	半面
19	道路一時掘削届書 坂水施発第204号	坂戸市三光町42-2番地先 市道3798号線	車道	6.29	再生密粒度As 5cm		5.95	白線 15 cm × 0.90 m 黄線 15 cm × 4.60 m 控除分0.28 (消火栓 φ 600)	消火栓室調整工事 5104	半面
20	緊急掘削届出書 坂水施発第526号	坂戸市三光町22-17番地先 市道3810号線	車道	4.69	再生密粒度As 5cm		5.70	なし	出水不足解消工事 5268	半面
21	道路一時掘削届書 坂水施発第204号	坂戸市中富町51-6番地先 市道3817号線	車道	9.83	再生密粒度As 5cm		2.80	白線 15 cm × 4.20 m 黄線 15 cm × 7.15 m 控除分0.28 (消火栓 φ 600)	消火栓室調整工事 5104	半面
22	道路一時掘削届書 坂水施発第204号	坂戸市中富町48-14番地先 市道3819号線	車道	9.41	再生密粒度As 5cm		8.20	白線 15 cm × 4.00 m 白文字「ま」「れ」 黄線 15 cm × 7.00 m 控除分0.28 (消火栓 φ 600)	消火栓室調整工事 5104	半面
23	道路一時掘削届書 坂水施発第204号	坂戸市中富町53-8番地先 市道3823号線	車道	9.04	再生密粒度As 5cm		5.50	白線 15 cm × 3.70 m 黄線 15 cm × 6.70 m 控除分0.28 (消火栓 φ 600)	消火栓室調整工事 5104	半面
24	道路一時掘削届書 坂水施発第204号	坂戸市泉町28-11番地先 市道3883号線	車道	10.13	再生密粒度As 5cm		3.50	白線 15 cm × 3.70 m 黄線 15 cm × 6.85 m 控除分0.28 (消火栓 φ 600)	消火栓室調整工事 5077	半面
25	道路一時掘削届書 坂水施発第204号	坂戸市本町16-16番地先 市道3145号線	車道	10.12	再生密粒度As 5cm		8.50	白線 15 cm × 3.80 m 黄線 15 cm × 6.90 m 控除分0.28 (消火栓 φ 600)	消火栓室調整工事 5077	半面
26	緊急掘削届出書 坂水施発第345号	坂戸市溝端町13-32番地先 市道3400号線	車道	8.88	再生密粒度As 5cm		5.55	白線 15 cm × 4.80 m	分水栓漏水 5126	半面
27	緊急掘削届出書 坂水施発第327号	坂戸市溝端町11-22番地先 市道3400号線	車道	12.00	再生密粒度As 5cm		5.70	白線 15 cm × 4.80 m	分水栓漏水 5124	半面
28	緊急掘削届出書 坂水施発第353号	坂戸市伊豆の山町7-1番地先 市道3420号線	車道	5.31	再生密粒度As 5cm		5.60	黄線 15 cm × 2.10 m	分水栓漏水 5143	半面
29	緊急掘削届出書 坂水施発第95号	坂戸市伊豆の山町9-11番地先 市道3417号線	車道	9.39	再生密粒度As 5cm		8.18	白線 15 cm × 4.80 m	分水栓漏水 5340	半面
30	緊急掘削届出書 坂水施発第444号	坂戸市伊豆の山町17-50番地先 市道3734号線	車道	9.75	再生密粒度As 5cm		2.90	なし	分水栓漏水 5206	半面
31	緊急掘削届出書 坂水施発第507号	坂戸市伊豆の山町26-7番地先 市道3427号線	車道	7.46	再生密粒度As 5cm		4.25	白線 15 cm × 1.60 m	分水栓漏水 5245	半面
32	緊急掘削届出書 坂水施発第89号	坂戸市伊豆の山町26-12番地先 市道3428号線	車道	10.47	再生密粒度As 5cm		0.00	白線 15 cm × 2.90 m	分水栓漏水 5335	半面

33	緊急掘削届出書 坂水施発第418号	坂戸市末広町6-14番地先 市道3388号線	車道	8.08	再生密粒度As 5cm		4.57	白線 15 cm × 2.15 m	分水栓漏水 5169	半面
34	緊急掘削届出書 坂水施発第604号	坂戸市芦山町4-9番地先 市道3295号線	車道	6.63	再生密粒度As 5cm		8.50	白線 15 cm × 2.60 m	分水栓漏水 5284	半面
35	緊急掘削届出書 坂水施発第347号	坂戸市芦山町5-13番地先 市道3293号線	車道	9.80	再生密粒度As 5cm		6.67	白線 15 cm × 4.00 m	分水栓漏水 5144	半面
36	緊急掘削届出書 坂水施発第16号	坂戸市薬師町3-6番地先 市道3283号線	車道	9.00	再生密粒度As 5cm		0.00	白線 15 cm × 3.60 m	分水栓漏水 5292	半面
37	緊急掘削届出書 坂水施発第341号	坂戸市薬師町2-17番地先 市道3283号線	車道	10.88	再生密粒度As 5cm		4.35	白線 15 cm × 4.35 m	分水栓漏水 5129	半面
38	緊急掘削届出書 坂水施発第38号	坂戸市薬師町11-10番地先 市道3278号線	車道	7.44	再生密粒度As 5cm		5.05	なし	分水栓漏水 5302	半面
39	緊急掘削届出書 坂水施発第84号	坂戸市清水町20-5番地先 市道3232号線	車道	6.72	再生密粒度As 5cm		4.70	白線 15 cm × 4.00 m	分水栓漏水 5330	半面
40	緊急掘削届出書 坂水施発第57号	坂戸市千代田1-4-14番地先 市道2052号線	車道	8.12	再生密粒度As 5cm		2.30	白線 15 cm × 4.60 m	分水栓漏水 5320	全面
41	道路一時掘削届書 坂水施発第3号	坂戸市千代田3-1-21番地先 市道2019号線	車道	9.22	再生密粒度As 5cm		8.15	白線 15 cm × 4.90 m 白文字「れ」 15 cm × 6.35 m 黄線 15 cm × 6.35 m 控除分0.28 (消火栓φ600)	消火栓室調整工事 5336	半面
42	道路一時掘削届書 坂水施発第3号	坂戸市千代田3-8-20番地先 市道2019号線	車道	9.35	再生密粒度As 5cm		8.25	白線 15 cm × 5.00 m 黄線 15 cm × 6.30 m 控除分0.28 (消火栓φ600)	消火栓室調整工事 5336	半面
43	緊急掘削届出書 坂水施発第69号	坂戸市千代田3-1-8番地先 市道2034号線	車道	7.60	再生密粒度As 5cm		5.80	白線 15 cm × 3.50 m	分水栓漏水 5322	半面
44	緊急掘削届出書 坂水施発第82号	坂戸市千代田3-6-8番地先 市道2037号線	車道	9.17	再生密粒度As 5cm		5.80	白線 15 cm × 4.20 m	分水栓漏水 5337	半面
45	道路一時掘削届書 坂水施発第3号	坂戸市青木409-5番地先 市道1887号線	車道	8.75	再生密粒度As 5cm		4.90	黄線 15 cm × 5.90 m 控除分0.28 (消火栓φ600)	消火栓室調整工事 5336	全面
46	緊急掘削届出書 坂水施発第36号	坂戸市小沼134番地先 市道1540号線	車道	13.90	再生密粒度As 5cm		11.10	白線 15 cm × 5.56 m	給水管漏水 5309	全面
47	緊急掘削届出書 坂水施発第75号	坂戸市南町7-14番地先 市道3004号線	車道	8.06	再生密粒度As 7cm		7.05	なし	分水栓漏水 5329	半面

修繕小穴舗装本復旧箇所一覧(緊急掘削等)

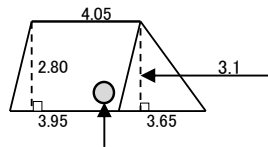
鶴ヶ島市道

N O	届出区分 受付番号	場 路 線 番 号	道路種別	面積(㎡)	復 旧 組 成	カッター 形 状	カッター 延長 (m)	線 ・ 文 字 等	修繕内容 修繕番号	工 事
1	道路占用(令和4年度) 鶴占道第628号	鶴ヶ島市高倉1116-1番地先 市道432号線	車道	15.10	再生密粒度As 5cm 再生密粒度As 5cm		7.40	白線 15 cm × 6.17 m	不排水仕切井設置 4480	半面
2	緊急掘削届出書 鶴占道第1901号	鶴ヶ島市高倉1166-9番地先 市道350号線	車道	8.61	再生密粒度As 5cm		7.85	黄線 15 cm × 6.60 m 控除分0.28 (消火栓φ600)	消火栓室調整工事 5267	半面
3	道路一時掘削届書 鶴占道第2179号	鶴ヶ島市太田ヶ谷433-4番地先 市道269号線	車道	16.58	再生密粒度As 5cm	別紙	0.00	白線 15 cm × 6.40 m 黄線 15 cm × 3.40 m 控除分0.28 (消火栓φ600)	消火栓室調整工事 5341	半面
4	道路一時掘削届書 鶴占道第2179号	鶴ヶ島市太田ヶ谷445番地先 市道269号線	車道	9.28	再生密粒度As 5cm		0.00	白線 15 cm × 4.65 m 黄線 15 cm × 4.85 m 控除分0.28 (消火栓φ600)	消火栓室調整工事 5341	半面
5	緊急掘削届出書 鶴占道第1370号	鶴ヶ島市太田ヶ谷944-13番地先 市道564号線	車道	9.67	再生密粒度As 5cm		4.30	控除分0.33 (マンホールφ650)	出水不足解消工事 5171	半面
6	緊急掘削届出書 鶴占道第2356号	鶴ヶ島市鶴ヶ丘58-5番地先 市道6号線	車道	19.97	再生密粒度As 5cm 再生粗粒度As 7cm		0.00	白線 15 cm × 7.80 m	分水栓漏水 5293	半面
7	緊急掘削届出書	鶴ヶ島市鶴ヶ丘89-4番地先 市道6号線	車道	12.25	再生密粒度As 5cm 再生粗粒度As 7cm		3.60	白線 15 cm × 4.10 m	分水栓漏水 5125	半面
8	緊急掘削届出書 鶴占道第1900号	鶴ヶ島市富士見5-23-10番地先 市道699号線	車道	9.69	再生密粒度As 5cm		8.25	なし	分水栓漏水 5256	半面
9	緊急掘削届出書	鶴ヶ島市富士見5-2-4番地先 市道685号線	車道	9.24	再生密粒度As 5cm		6.20	なし	分水栓漏水 5209	半面
10	緊急掘削届出書 鶴占道第2280号	鶴ヶ島市富士見2-24-15番地先 市道643号線	車道	11.19	再生密粒度As 5cm		6.15	白線 15 cm × 5.60 m	分水栓漏水 5288	半面
11	緊急掘削届出書	鶴ヶ島市藤金108-17番地先 市道233号線	車道	5.44	再生密粒度As 5cm		0.00	なし	出水不足解消工事 5049	半面
12	道路一時掘削届書 鶴占道第2179号	鶴ヶ島市藤金198-8番地先 市道161-2号線	歩道	2.20	再生細粒度As 3cm		2.00	黄線 15 cm × 2.70 m 控除分0.20 (消火栓φ500)	消火栓室調整工事 5341	全面
13	道路一時掘削届書 鶴占道第2179号	鶴ヶ島市藤金383-70番地先 市道161-2号線	車道	14.67	再生密粒度As 5cm		3.55	白線 15 cm × 5.35 m 黄線 15 cm × 7.10 m 緑線 0.8 m (0.15m × 5.35m) 控除分0.28 (消火栓φ600)	消火栓室調整工事 5341	半面
14	緊急掘削届出書 鶴占道第2444号	鶴ヶ島市藤金800-33番地先 市道585号線	車道	8.38	再生密粒度As 5cm		5.70	控除分0.49 (マンホールφ950の一部)	分水栓漏水 5307	半面

15	緊急掘削届出書	鶴ヶ島市三ツ木3-3番地先 市道334号線	車道	14.70	再生密粒度As 5cm		5.30	なし	仕切弁調整工事 5266	全面
16	緊急掘削届出書	鶴ヶ島市藤金898-100番地先 市道610号線	車道	11.81	再生密粒度As 5cm		7.55	なし	分水栓漏水 5109	全面
17	道路一時掘削届書 鶴占道第2179号	鶴ヶ島市共栄町5-14番地先 市道811号線	車道	10.52	再生密粒度As 5cm		6.40	黄線 15 cm × 6.08 m 控除分0.28 (消火栓 φ600)	消火栓室調整工事 5341	全面
18	道路一時掘削届書 鶴占道第2179号	鶴ヶ島市脚折町5-4-21番地先 市道769号線	歩道	4.17	再生細粒度As 3cm		3.30	黄線 15 cm × 3.40 m 控除分0.20 (消火栓 φ500)	消火栓室調整工事 5341	全面
19	道路一時掘削届書 鶴占道第2179号	鶴ヶ島市脚折町5-2-19番地先 市道782号線	車道	9.35	再生密粒度As 5cm		8.20	黄線 15 cm × 6.75 m 控除分0.28 (消火栓 φ600)	消火栓室調整工事 5341	半面
20	道路一時掘削届書 鶴占道第2179号	鶴ヶ島市脚折町4-12-1番地先 市道798号線	歩道	2.86	再生細粒度As 3cm		2.40	黄線 15 cm × 2.40 m 控除分0.20 (消火栓 φ500)	消火栓室調整工事 5341	全面
21	道路一時掘削届書 鶴占道第2179号	鶴ヶ島市脚折町1-28-12番地先 市道848号線	車道	9.35	再生密粒度As 5cm		8.20	黄線 15 cm × 6.70 m 控除分0.28 (消火栓 φ600)	消火栓室調整工事 5341	半面
22	道路一時掘削届書 鶴占道第2179号	鶴ヶ島市脚折町1-5-18番地先 市道844号線	車道	9.28	再生密粒度As 5cm		5.60	黄線 15 cm × 6.93 m 控除分0.28 (消火栓 φ600)	消火栓室調整工事 5341	半面
23	道路一時掘削届書 鶴占道第2179号	鶴ヶ島市脚折町1-4-13番地先 市道84号線	車道	10.03	再生密粒度As 5cm		6.53	黄線 15 cm × 6.10 m 控除分0.28 (消火栓 φ600)	消火栓室調整工事 5341	半面
24	道路一時掘削届書 鶴占道第2179号	鶴ヶ島市脚折町2-17-8番地先 市道816号線	車道	11.41	再生密粒度As 5cm		4.00	黄線 15 cm × 7.25 m 控除分0.28 (消火栓 φ600)	消火栓室調整工事 5341	半面
25	緊急掘削届出書 鶴占道第2647号	鶴ヶ島市下新田621-293番地先 市道618号線	車道	7.03	再生密粒度As 5cm		6.15	白線 15 cm × 0.25 m (白文字「止」の一部)	分水栓漏水 5324	全面
26	緊急掘削届出書 鶴占道第2357号	鶴ヶ島市下新田621-286番地先 市道618号線	車道	8.70	再生密粒度As 5cm		6.46	なし	分水栓漏水 5295	全面
27	緊急掘削届出書 鶴占道第2378号	鶴ヶ島市下新田574-31番地先 市道567号線	車道	6.68	再生密粒度As 5cm		7.04	なし	分水栓漏水 5305	半面
28	緊急掘削届出書 鶴占道第2634号	鶴ヶ島市脚折40-1番地先 市道438号線	車道	13.20	再生密粒度As 5cm 再生粗粒度As 7cm		6.10	なし	分水栓漏水 5325	半面
29	道路一時掘削届書 鶴占道第2179号	鶴ヶ島市脚折町6-19-3番地先 市道746号線	車道	9.44	再生密粒度As 5cm		5.95	黄線 15 cm × 6.65 m 控除分0.28 (消火栓 φ600)	消火栓室調整工事 5314	半面

別紙(鶴ヶ島市道)

No.3

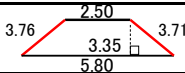


控除分0.28 (消火栓φ600)

面積 $S = 11.2 + 5.66 - 0.28$
 $= 16.58\text{m}^2$

カットー $L = 0\text{m}$

修繕小穴舗装本復旧箇所一覧(緊急掘削等)

県道										
N O	届出区分 文書番号	場 路 線 番 所 号	道路種別	面積(㎡)	復 旧 組 成	カッター 形 状	カッター 延長 (m)	線 ・ 文 字 等	修繕内容 修繕番号	工 事
1	緊急掘削届出書 坂水施発第377号	坂戸市森戸86-1番地先 県道 日高川島 線	車道	13.90	再生密粒度As 5cm 再生粗粒度As 7cm		7.47	白線 15 cm × 5.80 m	分水栓漏水 5150	半 面

建設工事標準仕様書

坂戸、鶴ヶ島水道企業団

目 次

I 共 通 編

第1章 総 則

第 1 条	適用範囲	1
第 2 条	法令等の遵守	1
第 3 条	疑義の解釈	1
第 4 条	監督員及び監督業務	1
第 5 条	書類の提出	2
第 6 条	特許権等の使用	2
第 7 条	工事関係者に関する措置請求	2
第 8 条	官公署等への諸手続き	2
第 9 条	費用の負担	2
第10条	休日又は夜間における作業	2
第11条	条件変更等	3
第12条	工事の中止	3
第13条	賠償の義務	3
第14条	工事の検査	3
第15条	しゅん工の定義	3
第16条	目的物の引渡し及び所有権の移転、部分使用	3
第17条	保証期間	4

第2章 安全管理

第18条	一般事項	4
第19条	交通及び保安上の措置	4
第20条	歩行者通路の確保	4
第21条	事故防止	4
第22条	事故報告	4
第23条	現場の整理整頓	5

第3章 材 料

第24条	材料の規格	5
第25条	材料の検査	5
第26条	支給材料	5
第27条	使用骨材等	5

第4章 工 事

第28条	一般事項	5
第29条	事前調査	5
第30条	工事施工についての折衝報告	6
第31条	他工事との協調	6
第32条	仮設工	6

Ⅱ 工 事 編

第5章 管布設工事

第33条	一般事項	6
第34条	掘削工	6
第35条	土留工	7
第36条	埋設物関係	7
第37条	覆工	7
第38条	通路の確保	7
第39条	埋戻工	7
第40条	残土処理	8
第41条	建設副産物の処理	8
第42条	水替工	8
第43条	管の据付け	8
第44条	管の接合	8
第45条	鋼管溶接工事	9
第46条	管の切断	9
第47条	既設管との連絡工事	9
第48条	不断水連絡工	9
第49条	弁栓類据付け工	10
第50条	弁室その他の構造物	10
第51条	異形管防護工	10
第52条	撤去品	10
第53条	伏越工	10
第54条	軌道下横断工	10
第55条	さや管推進工	10
第56条	水管橋架設工	10
第57条	ポリエチレンスリーブ被覆工	11
第58条	管明示工	11
第59条	埋設標示工	11
第60条	道路復旧工	11
第61条	工程検査	11

第6章 舗装工事

第62条	一般事項	11
第63条	施工管理	11

Ⅲ 試験及び竣工図、出来形管理図、工事写真編

第7章 通水及び水圧試験等

第64条	通水試験工	11
第65条	水圧試験	12
第66条	水質検査	12

第8章 竣工図、出来形管理図、工事写真

第67条	竣工図	1 2
第68条	出来形管理図	1 2
第69条	工事写真	1 3

付 編

施工参照図

標準弁筐栓室設置図	1 4
-----------	-----

竣工図面作成様式

配水本管布設工事	1 5
オフセット図	1 6
給水管布設工事、オフセット図	1 7

各種届出等様式例

請負代金内訳書	1 8
着工届	1 9
現場代理人等通知書	2 0
経歴書	2 1
配管工届	2 2
溶接工届	2 3
工事工程表	2 4
下請負人通知書	2 5
現場事務所設置届	2 6
現場事務所設置届案内図（別紙）	2 7
主要材料業者及び発注先一覧表	2 8
主要材料業者及び発注先一覧表（別紙）	2 9
使用骨材試験結果報告書・配合設計計画書一覧	3 0
材料検査願	3 1
検査合格証明書等綴	3 2
材料支給願	3 3
支給材料受領書	3 4
材料支給願・支給材料受領書（別紙）	3 5
支給材料精算書	3 6
支給材料精算書（別紙）	3 7
材料承諾願	3 8
水圧試験結果表	3 9
使用骨材等数量表	4 0
実施工程表	4 1
竣工届	4 2
工事目的物引渡書	4 3

建設工事標準仕様書

I 共通編

第1章 総 則

(適用範囲)

第1条 この建設工事標準仕様書（以下「仕様書」という。）は、坂戸、鶴ヶ島水道企業団（以下「発注者」という。）が発注する建設工事（以下「工事」という。）に適用し、その工事の適正を期するため、坂戸、鶴ヶ島水道企業団建設工事標準請負契約約款（以下「約款」という。）第1条に規定する仕様書として、工事に必要な事項を定めるものとする。

2 特殊な工事については、別に定める仕様書によるものとする。

3 特記仕様書及び工事設計書、設計図面（以下「設計図書」という。）に記載された事項は、この仕様書より優先するものとする。

(法令等の遵守)

第2条 受注者は、工事の施工にあたり関係法令、条例、規則等を遵守し、工事の円滑な進捗を図るとともに、諸法令の適用運用は受注者の負担と責任において行わなければならない。

(疑義の解釈)

第3条 仕様書（特記仕様書を含む）及び設計図書に疑義を生じた場合は、発注者の解釈による。

(監督員及び監督業務)

第4条 この仕様書において監督員とは、約款第9条の規定に基づき監督員として指定された職員で、総括監督員、担当監督員を総称する。

2 総括監督員の業務は次の各号に定められたものとする。

- (1) 受注者に対する指示、承諾又は協議で総括監督員が重要と認めるものの処理。
- (2) 設計図書に基づく工程の管理、立会い、工事の施工状況の検査又は工事材料の試験若しくは検査（確認を含む）のうち、総括監督員が必要と認められるもの。
- (3) 工事の内容変更、一時中止又は打ち切りの必要があると認められる場合における当該処置及び当該処置を必要とする理由、その他必要と認める事項の所属長に対する報告。
- (4) 担当監督員の指揮監督及び監督業務の掌握。
- (5) その他総括監督員が必要と認めた事項。

3 担当監督員の業務は次の各号に定められたものとする。

- (1) 受注者に対する指示、承諾又は協議。
- (2) 設計図書に基づく工事の施工のための詳細図等の作成及び交付又は受注者が作成した詳細図等の承諾。
- (3) 設計図書に基づく工程の管理、立会い、工事の施工状況の検査又は工事材料の試験若しくは検査（確認を含む）。
- (4) 監督業務全般についての総括監督員への報告。
- (5) その他総括監督員の指示する事項。

(書類の提出)

第5条 受注者は約款第3条の書類のほか、次の書類のうち本工事に必要な書類を提出し、発注者の承認を受けなければならない。

- (1) 着工届、現場代理人等通知書、配管工届、溶接工届、主要材料業者及び発注先一覧表、使用骨材試験結果報告書・配合設計計画書一覧及び監督員が指示する書類を契約締結後14日以内に提出しなければならない。なお、契約締結の日をもって工事着工とする。
- (2) 受注者は工事の施工に先立ち、材料検査願を提出して監督員の承認を受けなければならない。
- (3) 受注者は工事期間中監督員に使用材料、常務者数、工事出来高、配管図等を記入した工事日報を遅延なく提出しなければならない。
- (4) 部分払契約において部分払を請求する場合は、出来高届並びに監督員の指示する書類を提出しなければならない。
- (5) 工事が完成した場合、実施工程表、品質管理に関する書類、出来形管理図、竣工図、オフセット図、工事記録写真、竣工届を提出しなければならない。
- (6) 前各号のほか仕様書、特記仕様書に決められた事項及び監督員の要求する書類を提出すること。

2 受注者は、工事の施工にあたり、下請負契約を締結したときは、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律第15条を遵守するとともに、次の書類を提出し、発注者の承認を受けなければならない。

- (1) 下請負人通知書
- (2) 施工体制台帳（全建統一様式を使用可能とする。）の写し
- (3) 施工体系図（全建統一様式を使用可能とする。）
- (4) 前各号のほか監督員の要求する書類

(特許権等の使用)

第6条 工事の施工にあたり、特許権その他第三者の権利の対象となっている施工方法を使用するときは、受注者はその使用に関する一切の責任を負うこと。

(工事関係者に関する措置請求)

第7条 発注者は、現場代理人・主任技術者その他、受注者が工事を施工するために使用している下請負人、労働者等（以下「労働者」という。）で、工事の施工又は管理につき、著しく不適当と認められる者があるときは、受注者に対してその事由を明示した書面により、必要な措置をとるべきことを請求することができる。

(官公署等への諸手続き)

第8条 受注者は、工事の施工に必要な関係官公署及び他企業への諸手続きにあたっては、あらかじめ監督員と打合せのうえ、迅速、確実に行い、その経過については、速やかに監督員に報告すること。

(費用の負担)

第9条 材料及び工事の検査並びに工事施工に伴う測量、調査、試験、試掘、諸手続きに必要な費用は受注者の負担とする。

(休日又は夜間における作業)

第10条 受注者は、工事実施の都合上、休日又は夜間に作業を行う必要がある場合は、あ

らかじめ監督員と協議しなければならない。

(条件変更等)

第11条 工事途中における、軽微な変更に関しては請負金額の増減は行わない。ただし、監督員の承認したものについては約款に基づき協議することができる。

(工事の中止)

第12条 発注者は、必要があるときは、工事の全部又は一部について一時中止、もしくは打切ることができる。

(賠償の義務)

第13条 受注者は、工事のため発注者又は第三者に損害を与えたときは、賠償の責を負うものとする。ただし、天災、その他不可抗力によると考えられる場合は、約款に基づき協議することができる。

2 受注者の使用する労働者の行為又はこれに対する第三者からの求償については、発注者は一切その責を負わない。

3 前2項の処理は、原則として受注者が行うものとする。

(工事の検査)

第14条 受注者は、次のいずれかに該当するときは、速やかに発注者に通知し、発注者の検査を受けること。

(1) 工事が完成したとき。(しゅん工検査)

(2) 工事の施工中でなければ、その検査が不可能なとき又は著しく困難なとき。

(中間検査)

(3) 部分払いを必要とするとき又は工事を打切ったとき。(出来高検査)

(4) その他必要があるとき。

2 発注者は、検査の通知を受けたときは、その日から14日以内に検査を行うものとする。

3 受注者は、発注者の行う検査に立会い、また協力すること。この場合、受注者が立会わないときは、受注者は、検査の結果について異議を申し立てることはできない。

4 発注者は、必要に応じて破壊検査を行うことができる。

5 発注者は、必要があるときは、随時受注者に通知のうえ検査を行うことができる。

6 中間検査に合格した既成部分についても、しゅん工検査のときに手直しを命じることがある。

7 検査に合格しない場合は、発注者の指示に従い、工事の全部又は一部につき直ちに手直しし、改造又は再施工し、再び検査を受けること。

8 検査のため変質、変形、消耗又は損傷したことによる損失は、すべて受注者の負担とする。

(しゅん工の定義)

第15条 工事のしゅん工とは、仮設物その他の整理清掃が完了し、企業団のしゅん工検査に合格した日をいう。

(目的物の引渡し及び所有権の移転、部分使用)

第16条 工事目的物の発注者への引渡しは、約款第31条第4項又は第5項の規定をもって引渡しとする。

2 発注者は、前項による引渡し前においても、工事目的物の全部又は一部を受注者の承認を得て使用することが出来る。

(保証期間)

第17条 工事目的物の引渡しを受けた日から1年間は受注者の保証期間とする。ただし、不可抗力と認められるものについては、この限りではない。

第2章 安全管理

(一般事項)

第18条 受注者は、常に工事の安全に留意して現場管理を行い、災害の防止に努めること。

2 受注者は、工事現場内の危険防止のため平素から防災設備を施すなど常に万全の措置がとれるよう準備しておくこと。

3 受注者は、工事の施工にあたり必要な安全管理者、各作業主任者、保安要員、交通整理員等を配置して、安全管理と事故防止に努めること。

(交通及び保安上の措置)

第19条 受注者は、工事の施工にあたり、道路管理者及び警察署長の交通制限に係る指示に従うとともに、沿道住民の意向を配慮し、所要の道路標識、標示板、保安柵、注意灯、照明灯、覆工等の設備をなし、交通の安全を確保すること。

2 保安設備は、車両及び一般通行者の妨げとならないよう配置するとともに、常時適正な保守管理を行うこと。

3 工事現場は、作業場としての使用区域を保安柵等により明確に区分し、一般公衆が立ち入らないように措置するとともに、その区域以外の場所に許可なく機材等を仮置きしないこと。

4 作業場内は、常に整理整頓をしておくとともに、当該部分の工事の進捗にあわせ、直ちに仮復旧をなし、遅滞なく一般交通に開放すること。

5 作業場内の開口部は、作業中でもその場に工事従事者（保安要員）がいらない場合は埋戻すか仮覆工をかけ又は保安ネット等で覆っておくこと。ただし、作業時間中で作業場所の周辺が完全に区分されている場合はこの限りではない。

6 道路に覆工を設ける場合は、車両荷重等に十分耐え得る強度を有するものとし、道路面との段差をなくすようにすること。

7 道路を一般交通に開放しながら工事を施工する場合は、交通整理員を配置して、車両の誘導及び事故防止にあたらせること。

(歩行者通路の確保)

第20条 歩道（歩道のない道路では通常歩行者が通る道路の端の部分、以下同じ。）で工事をする場合は、歩行者通路を確保し、常に歩行者の通路として開放すること。

(事故防止)

第21条 受注者は、公衆の生命身体及び財産等に危害、迷惑を及ぼさないよう、必要な措置を講じなければならない。

2 埋設物に接近して掘削する場合は、周囲の地盤の緩み、沈下等に十分注意して施工し、必要に応じて当該埋設物管理者と協議のうえ、防護措置を講ずること。

3 工事中は、地下埋設物の試掘調査を十分に行うとともに、当該埋設物管理者に立会いを求めてその位置を確認し、埋設物に損傷を与えないよう注意すること。

(事故報告)

第22条 工事施工中、万一事故が発生したときは、所要の措置を講ずるとともに、事故

発生の原因及び経過、事故による被害の内容等について直ちに監督員に報告すること。

(現場の整理整頓)

第23条 受注者は、工事施工中、交通及び保安上の障害とならないよう機械器具、不用土砂等を使用の都度整理整頓し、現場内及びその付近は、常に清潔に保つこと。

2 受注者は、工事完成までに、不用材料、機械類を整理するとともに、仮設物を撤去して、跡地を清掃すること。

第3章 材 料

(材料の規格)

第24条 工事に使用する材料は、設計図書に品質規格を規定された物を除き日本工業規格（以下「JIS」という。）、日本農林規格（以下「JAS」という。）、日本水道協会規格（以下「JWWA」という。）等に適合するもの又は発注者の承諾したものを使用すること。

2 受注者は、工事に使用する材料が特殊な製品等であつて発注者の承諾を必要とする場合、材料検査前に説明書、図面、写真及び性能試験書等により、発注者の確認を受けなければならない。

(材料の検査)

第25条 工事用材料は、使用前にその品質、寸法又は見本品について監督員の検査を受け、合格したものであり、各規格の検査合格証明書等を提出すること。

2 材料検査に合格したものであつても、使用時になって損傷、変質したときは新品と取り替え、再び検査を受けること。

3 不合格品は、直ちに現場より搬出すること。

(支給材料)

第26条 支給材料のある場合は、発注者、受注者立会いのもとに確認した後、受領書と引換えに支給する。

2 支給材料の運搬並びに保管は、受注者が行うものとし、整理簿によりその保管及び使用の状況を常に明らかにすること。

3 支給材料を滅失又は損傷したときは、賠償又は原形に復すこと。

4 工事完了後、材料受払簿と残材料を添えて提出し、発注者の確認を受けること。

(使用骨材等)

第27条 使用する骨材、セメント、砂、砂利、瀝青材料等は、すべて用途に適する強度、耐久力、磨耗抵抗及びじん性等を有するもので形状、寸法は設計図書に基づくものであること。

第4章 工 事

(一般事項)

第28条 工事について、監督員が指示した場合は、詳細図及び説明書を提出すること。

(事前調査)

第29条 受注者は、工事に先立ち、施工区域全般にわたる地下埋設物の種類、規模、埋設位置等をあらかじめ試掘その他により確認しておくこと。

2 受注者は、工事箇所近接する家屋等に被害が発生するおそれがあると思われる場合は、

発注者と協議のうえ、当該家屋等の調査を行うこと。

- 3 その他工事に必要な環境（道路状況、交通量、騒音、水利等）についても十分調査しておくこと。

（工事施工についての折衝報告）

第30条 工事施工に関して、関係官公署、付近住民と交渉を要するとき又は交渉を受けたときは、適切な措置を講ずるとともに、速やかにその旨を監督員に報告すること。

（他工事との協調）

第31条 工事現場付近で他工事が施工されているときは、互いに協調して円滑な施工をはかること。

（仮設工）

第32条 仮設材料、資材の置場は受注者の負担において借り上げるものとし、公共用地の場所については関係管理者の許可を得るものとする。この場合、資材等の亡失、事故等についてはすべて受注者の責任とする。

- 2 資材の道路上への積み置きは原則的に禁止する。ただし、監督員と協議して道路管理者等関係機関の許可を得た場合にはこの限りではない。
- 3 監督員が仮設工の必要箇所、構造、体裁等について指示した場合は、迅速に施工すること。
- 4 仮設構造物は、常時点検し、必要に応じて修理補強し、その機能を十分発揮出来るようにすること。
- 5 仮設工事が完全でなく、現場等の整理整頓がなされていない場合には、工事を中止させることもある。

II 工 事 編

第5章 管布設工事

（一般事項）

第33条 工事に際しては、あらかじめ設計図書に基づき、平面位置、土被り、構造物等を正確に把握しておくこと。また、施工順序、施工方法、使用機器等について、事前に監督員と十分打合せを行った後、工事に着手すること。

- 2 設計図書により難い場合は、監督員と協議すること。
- 3 新設管と既設埋設物との離れは、30cm以上とすること。ただし、所定の間隔が保持できないときは、監督員と協議すること。

（掘削工）

第34条 掘削にあたっては、あらかじめ保安設備、土留、排水、覆工、残土処理その他につき必要な準備を整えたうえ、着工すること。

- 2 アスファルトコンクリート舗装、コンクリート舗装の切断は、舗装切断機等を使用して切口を直線に施工する。また、取り壊しにあたっては、在来舗装部分が粗雑にならないように行うこと。
- 3 掘削延長は原則としてその日のうちに埋戻しを完了するものとし、掘り置きは原則と

して承認しないものとする。

- 4 機械掘削を行う場合は、施工区域全般にわたり地上及び地下の施設に十分注意すること。
- 5 床付け及び接合部の掘削は、配管及び接合作業が完全にできるよう所定の形状に仕上げること。
- 6 床付面に岩石、コンクリート塊等の支障物が出た場合は、床付面より10cm以上取り除き、砂等に置き換えること。

(土留工)

第35条 土留工は、施工に先立ち工事現場周辺の施設、地下埋設物、その他を十分調査し行うこと。

- 2 土留材の打ち込みは、適当な深さまで布掘りした後、通りよく建て込み、鉛直に打ち込むこと。
- 3 腹起しは長尺物を使用し、常に矢板に密着させること。隙間を生じた場合は、楔を打ち込み締付けること。
- 4 腹起し、切り梁等の部材の取り付けは、段階ごとに掘削が出来次第速やかに行い、完了後でなければ次の掘削に進まないこと。

(埋設物関係)

第36条 掘削中、埋設物が認められたときは監督員に報告し、その指示を受け施工しなければならない。

- 2 既設の埋設物がある場合は、関係管理者と十分協議を行い、その指示に従って行わなければならない。この場合、関係管理者から直接指示があった場合には、その内容について監督員に報告しなければならない。

(覆工)

第37条 覆工は、設計図書で指定した箇所のほか、現場の状況により必要と認められる箇所は、覆工すること。

- 2 覆工施設に使用する材料は、作用する荷重に十分耐え得るような材質、寸法とすること。
- 3 路面覆工は、原則として路面と同一の高さとすること。やむをえない場合は路面となじみよく取り付けること。
- 4 覆工板は、ばたつきのないよう完全に取り付け、常時点検し、良好な状態を保つよう手入れをし、交通の安全及び騒音、振動の発生防止に努めること。

(通路の確保)

第38条 道路を横断して施工する場合は、原則として半幅員以上の通路を確保しなければならない。

- 2 建物その他、人が出入りする場所に近接して工事を行う場合は、沿線住民に迷惑のかからないように安全な通路を設け、出入口を確保しなければならない。

(埋戻工)

第39条 埋戻しは、片埋めにならないよう注意しながら、設計図書に指定のある場合、もしくは特に指示があった場合を除き、一層20cm以下で十分に締め固めること。

- 2 砂層の上に発生土を用いる場合は、掘削土のうち最も良質の部分をより分けて埋戻さなければならない。

- 3 埋戻しに際しては、管その他の構造物に損傷を与えたり、管の移動を生じたりしないよう注意して行わなければならない。
- 4 管の下端、側部及び埋設部の交差箇所の埋戻し、つき固めは特に入念に行い、沈下の生じないようにしなければならない。
- 5 土留の切り梁、管の据え付けの胴締め材は、管に影響を与えないよう取り外し時期、方法を考慮して埋戻しを行わなければならない。

(残土処理)

第40条 発生した残土は、当日速やかに搬出し、工事区域内に残置することのないようにすること。

- 2 運搬にあたっては、荷台をシートで覆い飛散防止を施し、過積載は厳禁とする。
- 3 残土は、別に定める特記仕様書のとおり処分し、発注者へ実際に処分を行ったことを証明する資料（地主との受入れ契約書、明細書等）を提出しなければならない。
- 4 処分先は、運搬経路も含め常に実態を把握し、処分先の関係機関と打合せを行い、適正な処理に努めること。
- 5 処分に要する一切の費用は受注者の負担とする。
- 6 埋戻し用土砂として残土を一時仮置きする場合は、監督員と協議すること。

(建設副産物の処理)

第41条 残土、コンクリート廃材、アスコン廃材、木材等の建設副産物の処理については、事前に監督員と十分協議し、関係法令等を遵守して処理すること。

(水替工)

第42条 工事区域内は排水を完全に行えるよう十分な水替え設備を設け、水を滞留させないように注意し、排水は必要に応じ沈砂ますを設けて土砂を流さないようにすること。

- 2 放流にあたっては必要に応じ関係管理者と協議すること。なお、河川等に放流する場合は、放流地点が先掘されないよう適当な処置をすること。
- 3 放流の際は次の事項を注意すること。また、冬季においては、路面の凍結防止に注意すること。
 - (1) 水替設備、放流設備を点検すること。
 - (2) ホースは放流施設まで連結すること。
 - (3) その他排水が現場付近居住者に迷惑とならないこと。

(管の据付け)

第43条 管の据付けに先立ち、十分管体検査を行い、亀裂、その他の欠陥のないことを確認しなければならない。

- 2 管の据付けにあたっては、管内部を十分清掃し、中心線及び高低を確認して移動の生じないように胴締めをし、文字を上向きに据付けること。
- 3 一日の布設作業完了後は、管内に土砂、汚水等が流入しないよう木蓋等で管端部をふさぐこと。
- 4 直管では一定以上の角度をとってはならない。
- 5 既設埋設物と交差する場合は、原則として30cm以上離さなければならない。

(管の接合)

第44条 管の接合に従事する配管技能者は、使用する管の材質、継手の性質、構造及び接合要領等を熟知するとともに、豊富な経験を有すること。

(鋼管溶接工事)

第45条 現場溶接施工中、溶接技術に十分な知識と経験を有する技術指導員を現場に随時派遣し、溶接工を指導させなければならない。

2 溶接作業にあたっては、火気、漏電等について十分防止対策を施さなければならない。

3 現場にて溶接に従事する溶接工はJIS Z 3801（溶接技術検定における試験方法及び判定基準）、JIS Z 3821（ステンレス鋼溶接技術検定における試験方法及び判定基準）のうち、この種の溶接に最も適する技能と実務経験を有すること。

4 溶接検査は、JIS Z 3104（鋼溶接部の放射線透過試験方法及び透過写真の等級分類方法）による。

(1) 透過撮影の箇所は、溶接箇所全箇所とする。

(2) 透過写真（ネガ）は、検査完了後、撮影箇所を明示し、一括整理して監督員に提出すること。

(管の切断)

第46条 管の切断にあたっては、所要の切管長及び切断箇所を正確に定め、切断線の標線を管の全周にわたって入れること。

2 管の切断は、管軸に対して直角に行うこと。

3 鋳鉄管の切断は、切断機で行うことを原則とする。また、異形管は切断してはならない。

4 鋼管の切断は、塗覆装がある場合には塗覆装材を処理したうえで切断線を表示して行うこと。なお、切断中は管内外面の塗覆装の引火に注意して行うこと。

5 鋼管は、切断完了後、既製管開先に準じて、丁寧に開先仕上げを行うこと。

6 石綿セメント管は、「石綿障害予防規則」等、関係法令に則り取り扱うこと。

7 塩ビ管の切断は、次の要領で行うこと。

(1) 切断箇所が管軸に直角になるように、マジックインキ等で全周にわたって標線を入れること。

(2) 切断面は、ヤスリ等で平らに仕上げるとともに、内外周を糸面取りすること。

8 既設管の切断は、本条の1～7に準ずる。

(既設管との連絡工事)

第47条 連絡工事は、断水時間に制約されるので、十分な事前調査、準備を行うとともに、円滑な作業ができるよう経験豊富な技術者と作業員を配置し、迅速、確実に施工しなければならない。

2 連絡工事に際しては、工事箇所周辺の調査を行い、機材の配置、交通対策、管内水の排水先等を確認し、必要な措置を講じること。

3 既設管の切断箇所、切断開始時については、監督員の指示立会いのうえ、行わなければならない。

4 既設管との連絡には、既設管内を十分清掃したうえで連絡しなければならない。

(不断水連絡工)

第48条 工事に先立ち、穿孔工事の実施時期について、監督員と十分な打合せを行い、工事に支障のないように留意すること。

2 割T字管の取り付けは、原則として水平とすること。ただし、埋設物その他の関係で水平にしがたいときは、監督員の承認を得て適当な勾配をつけること。

3 穿孔は、既設管に割T字管及び必要な仕切弁を基礎上に受け台を設けて設置し、所定の水圧試験を行い、これに合格してから行うこと。

4 穿孔後は、切りくず、切断片等を管外に排出したうえで管を接続すること。

(弁栓類据付け工)

第49条 仕切弁の据付けは、鉛直又は水平に据付けること。また、据付けに際しては、重量に見合ったクレーン又はチェンブロック等を用いて、開閉軸の位置を考慮して方向を定め安全確実に行うこと。

2 空気弁、消火栓等の据付けは管フランジに密着させパッキンの締付け状態、弁の開閉調子を点検しながら行わなければならない。

(弁室その他の構造物)

第50条 仕切弁室、空気弁室、消火栓室等の築造にあたっては、設計図書に従い入念に施工しなければならない。

2 鉄蓋類は、構造物に堅固に取り付け、かつ、路面に対して不陸なく据付けなければならない。

3 弁筐の据付けは、沈下、傾斜、及び開閉軸の偏心を生じないように入念に行わなければならない。

(異形管防護工)

第51条 異形管防護工の施工箇所、形状寸法、使用材料等については、設計図書に基づいて行うこと。

2 前項以外で、監督員が必要と認めた場合は、その指示により適切な防護を行うこと。

3 コンクリート防護がある場合は、管の表面をよく洗浄し、設計図書に基づき入念にコンクリートを打設すること。

4 コンクリートの配合については、設計図書又は特記仕様書による。

(撤去品)

第52条 撤去した管、弁栓類、鉄蓋等は清掃した後、監督員の指示により、指定した場所へ運搬しなければならない。ただし、処分について設計図書に明記してある場合は、それに基づき処理すること。

(伏越工)

第53条 施工に先立ち、関係管理者と十分協議し、安全確実な計画のもとに、迅速に施工すること。

2 湧水に対して特に水替を強化し、土砂の回り込み等の起こらないように注意しなければならない。

3 既設構造物を伏越しする場合は、関係管理者の立会いのうえ、指定された防護を行い、確実な埋戻しを行うこと。

(軌道下横断工)

第54条 本仕様書によるほか、特記仕様書により施工しなければならない。

(さや管推進工)

第55条 本仕様書によるほか、特記仕様書により施工しなければならない。

(水管橋架設工)

第56条 本仕様書によるほか、特記仕様書により施工しなければならない。

(ポリエチレンスリーブ被覆工)

第57条 ポリエチレンスリーブの被覆は、地下埋設のダクト用鋳鉄製の直管、異形管等の防食のため行うものであり、取り扱いにあたってはスリーブを損傷しないよう十分注意し施工しなければならない。

(管明示工)

第58条 管には、施工年の記載された明示テープをもって、正確に貼り付けること。

(埋設標示工)

第59条 管路を埋戻す際は、設計図書に基づき、標示シートを敷設すること。

(道路復旧工)

第60条 路面の復旧は、設計図書に基づき、原則路盤10cm以下、舗装版7cm以下で十分に締め固めること。

2 各層の施工に先立ち、浮石、木片、ごみ等を取り除き、清掃しておくこと。

3 舗装の復旧は、第6章舗装工事による。ただし、これにより難い場合は監督員の指示による。

(工程検査)

第61条 各工事において、監督員の指示した工程に達したときは検査を受け、合格の承認を受けてから次の工程に移らなければならない。なお、検査のため変質、変形又は損傷したことによる損失及び検査の費用は、すべて受注者の負担とする。

第6章 舗装工事

(一般事項)

第62条 受注者は、設計図書、この仕様書に定めるもののほか、埼玉県土木工事实務要覧に準拠して工事を計画すること。また、設計図書に基づき、施工順序、施工方法、使用機械等について、事前に監督員と十分打合せを行った後、工事に着手すること。

2 設計図書により難い場合は、監督員と協議すること。

(施工管理)

第63条 施工管理は、埼玉県土木工事实務要覧の土木工事施工管理基準に準拠して行うこと。ただし、これにより難い場合は監督員の指示による。

2 施工管理に必要な書類は工事完成後速やかに提出すること。

3 提出部数は原則1部とする。

III 試験及び竣工図、出来形管理図、工事写真編

第7章 通水及び水圧試験等

(通水試験工)

第64条 通水試験工は、監督員の指示により慎重に行い、充水完了まで所要の人員を待機させ、漏水その他の事故が発生したときは、速やかにこれを修復すること。

2 既設水道管から通水及び洗管作業を行う場合は、それに要する水の排水量を計量し、監督員に報告すること。

3 前項に要する水道水は発注者の負担とする。

(水圧試験)

第65条 受注者は、通水試験完了後、継手の水密性及び管路の安全性を確認するため、水圧試験を実施し、これに合格すること。なお、水圧試験の方法については、次のとおりとする。ただし、 $\phi 50\text{ mm}$ 以下、極めて布設延長が小さい場合はこの限りではない。

- (1) 受注者は、試験に用いる器具として、自記録水圧計、水道用水圧ゲージ（最大表示1.0 MPa程度）、時計（工事写真で確認できる大きさ）、テストポンプ、接続材料等を用意すること。
- (2) 試験圧力は0.75 MPaを原則とし、これにより難い場合は監督員の指示による。
- (3) 試験方法は3時間1回とする。ただし、 $\phi 50\text{ mm}$ 以下は1時間1回とする。
- (4) 試験状況を開始時から終了時まで、30分毎に写真を撮影すること。
- (5) 試験日程については、監督員と協議のうえ、決定すること。

2 受注者は、発注者の貸与する自記録水圧計を使用すること。

3 水圧試験結果は、検査合格後速やかに報告書を作成し、発注者に提出すること。

(水質検査)

第66条 受注者は、水圧試験完了後、監督員の指示により管の洗管作業を行い、発注者の水質検査に合格しなければならない。

第8章 竣工図、出来形管理図、工事写真

(竣工図)

第67条 受注者は、当該工事が完成したら直ちに竣工図を作成し、発注者の承認を得ること。

2 竣工図は布設路線全域にわたり500分の1（もしくは250分の1）の平面測量を行い、これに管の位置、土被り、弁栓類の位置及び詳細図等を記入して提出すること。

3 オフセット図は、下記事項を別にオフセット測量をなし、200分の1の図面を作成して提出すること。

- (1) 工事の起点、終点。
- (2) 分岐（十、T字管を含む）点及び管末。
- (3) 弁栓類。
- (4) 管種の変更点（他のオフセット箇所隣接の場合は除く）。
- (5) 占用位置の変更点（伏せ越し箇所を含む）（同上）。
- (6) 鞘管の両端。
- (7) その他監督員が指示する箇所。

4 竣工図及びオフセット図の様式は、竣工図面作成様式に基づき作成し、原図と複写図面一式（オフセットの複写図面は製本すること）をそろえて提出すること。

5 原図はマイラー仕上げにて1部提出すること。

6 マイラーのサイズは、A1サイズを原則とし、給水管布設工事に限りA2サイズとすることが出来る。

7 複写図面の提出部数は原則3部とする。なお、必要に応じて、A3サイズの縮小複写図面を提出すること。

(出来形管理図)

第68条 舗装工事に伴う出来形管理図は、設計値と実測値を対比して作成するものとし、

作成方法は埼玉県土木工事实務要覧の土木工事施工管理基準に準拠すること。

- 2 前項の出来形管理図は、仮復旧の場合は省略することが出来る。
- 3 提出部数は、発注者へ1部、必要に応じて道路管理者等への提出部数とする。

(工事写真)

第69条 工事の現場写真は、施工管理の手段として、各工事の施工段階及び工事完成後明視出来ない箇所の施工状況、出来形寸法、品質管理状況、工事中の災害写真等を撮影し、整理しておくものとする。

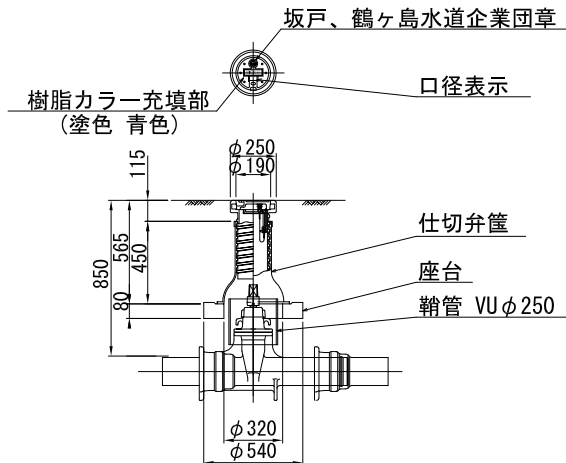
- 2 工事写真は、施工前に十分監督員と協議し、撮り忘れの無いようにすること。
- 3 工事写真は、監督員の指示に基づいてアルバムに整理し提出すること。
- 4 写真サイズはサービス版とし、提出部数は、発注者へ1部、必要に応じて道路管理者等への提出部数とする。

施 工 参 照 图

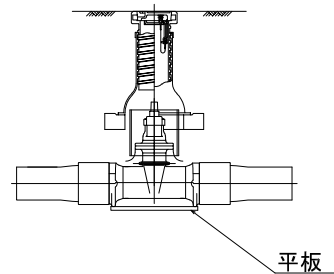
標準弁筐栓室設置図 S=1/40

仕切弁筐

標準 (DCIP GX形等)

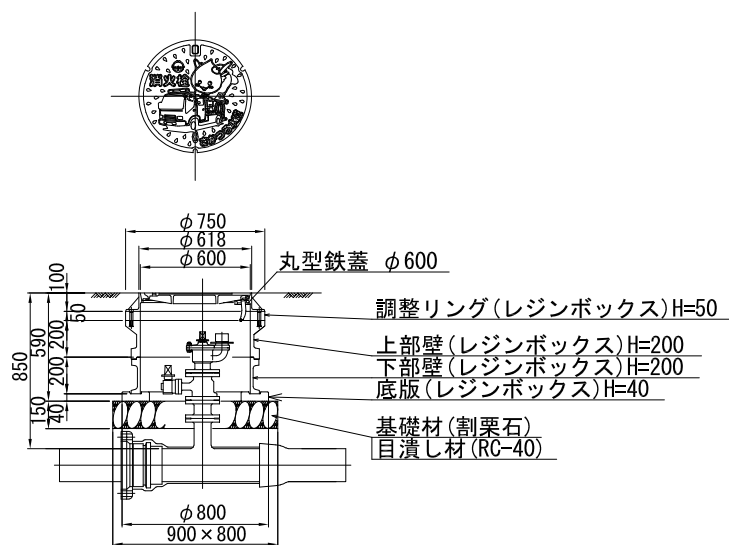


HPPE

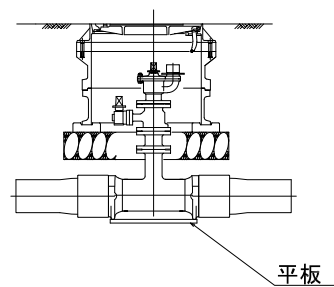


消火栓室等

標準 (DCIP GX形等)



HPPE



竣 工 図 面 作 成 様 式

A number line starting at 0 and ending at 120. There are tick marks every 10 units. The numbers 10, 30, 10, 20, 10, and 40 are written above the tick marks at positions 10, 30, 50, 70, 90, and 110 respectively.

70	15	工事名	配水本管布設工事第			工区
	15	図面名称	竣 工 図 (平 面 図)	図番	／	
	10	納入	単位	竣工	年 月	
	15	事業主 施工者	坂戸、鶴ヶ島水道企業団			

A1マイラー原図		20
20	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 配水本管布設工事第 工区 </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> オフセット $S=1:200$ </div> <div style="text-align: center;"> 施工会社名 </div> </div>	20 20
		20
20 20		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> $S=1:200$ 工事名 配水本管布設工事第 工区 </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> 名 称 仕切弁・消火栓等 </div> </div>	
20		

A2マイラー原図		15	A2マイラー原図外枠		
		案内図			
10				20	
		120			
		10	30	10	20
70	15	給水管布設工事第 工区			
15	10	竣工図 (平面図)		図番	/
15	15	単位	竣工	年	月
施工会社名		坂戸、鶴ヶ島水道企業団			
15					

A2マイラー原図		20	A2マイラー原図外枠		
		案内図			
20				20	
		120			
		10	30	10	20
70	15	給水管布設工事第 工区			
15	10	竣工図 (平面図)		図番	/
15	15	単位	竣工	年	月
施工会社名		坂戸、鶴ヶ島水道企業団			
15					

各 種 屈 出 等 樣 式 例

請 負 代 金 内 訳 書

- 1 工 事 名
 2 工 事 場 所
 3 請負代金額 金 円 也
 4 工 期 着 工 年 月 日から
 竣 工 年 月 日まで

工 事 種 別	単位	数量	単 価	金 額	摘 要

※ 法定福利費については、現場従業員及び現場労働者に関する健康保険、厚生年金保険及び雇用保険に係る法定福利費を請負工事費に対して内訳明示するものとする。

※ それぞれの種別のうち、内訳のあるものは別に内訳書を添付すること。

年 月 日

坂戸、鶴ヶ島水道企業団
 企業長 様

受 注 者

印

着 工 屈

1 工 事 名

2 工事場所

3 請負代金額 金 円也

4 工 期 着 工 年 月 日から
竣 工 年 月 日まで

5 着工年月日 年 月 日

上記のとおり工事に着工いたしましたのでお届けいたします。

年 月 日

坂戸、鶴ヶ島水道企業団
企業長 様

受注者

印

現場代理人等通知書

年 月 日

坂戸、鶴ヶ島水道企業団
企業長 様

受注者 印

下記工事の現場代理人等を定めましたので坂戸、鶴ヶ島水道企業団建設工事標準請負契約約款第10条第1項の規定により経歴書を添えて通知いたします。

記

工 事 名			
工 事 場 所			
工 期	年 月 日から 年 月 日まで		
請負代金額	金 円 也		
現場代理人			
<input type="checkbox"/> 主任技術者 <input type="checkbox"/> 監理技術者	<input type="checkbox"/> 専 任 <input type="checkbox"/> 非専任		監理技術者資格者証交付番号 第 号
監理技術者補佐			
専門技術者			

- 注 1 監理技術者は、建設業法第26条第2項によるものとする。
2 専門技術者は、建設業法第26条の2第1項によるものとする。
3 主任技術者と監理技術者（特例監理技術者含む）、専任または非専任を選択する。

経 歴 書

		年 月 日		
氏 名		生年月日 年 月 日		
所属会社 及び 事業所名		入 社 年月日 年 月 日		
資 格		資格番号		
最終学歴				
工 事 歴	工 事 名	請負代金額	工 期	職 責

- 注 1 現場代理人等通知書、配管工届、溶接工届、下請負人通知書で配置する者は、工事歴に必要な事項を記入すること。
- 2 技術者の要件を満たす資格者証、本工事で使用する配管の技能講習受講証等の写しを添付すること。なお、監理技術者資格者証は表裏複写すること。

配 管 工 届

1 工 事 名

2 工 事 場 所

3 請負代金額 金 円 也

4 工 期 着 工 年 月 日から
 竣 工 年 月 日まで

5 配管工氏名

上記のとおり選定いたしましたので経歴書を添えてお届けいたします。

年 月 日

坂戸、鶴ヶ島水道企業団
企業長 様

受 注 者

溶 接 工 届

1 工 事 名

2 工 事 場 所

3 請負代金額 金 円 也

4 工 期 着 工 年 月 日から
 竣 工 年 月 日まで

5 溶接工氏名

上記のとおり選定いたしましたので経歴書を添えてお届けいたします。

年 月 日

坂戸、鶴ヶ島水道企業団
企業長 様

受 注 者

工 事 工 程 表

年 月 日

[illegible]

下 請 負 人 通 知 書

年 月 日

坂戸、鶴ヶ島水道企業団

企業長 様

受 注 者

1 工 事 名

2 請負代金額 金 円 也

3 工 期 年 月 日～ 年 月 日

上記工事の一部を次のとおり下請させたので、坂戸、鶴ヶ島水道企業団建設工事標準請負契約約款第7条の規定により、通知します。

番 号	下請部分の 工事内容・ 数 量 等	下請負者名 代表者氏名	許可番号	下請負者の 主任技術者	下請負代金 (内前払金)	下請負代金 支払方法
		住 所 電 話 番 号	許可業種		工 期	
1						前払金 有・無 現金 %
			工事業		自 至	手形 % 手形期間 日
2						前払金 有・無 現金 %
			工事業		自 至	手形 % 手形期間 日
3						前払金 有・無 現金 %
			工事業		自 至	手形 % 手形期間 日
4						前払金 有・無 現金 %
			工事業		自 至	手形 % 手形期間 日

注 1 下請契約書の写しを添付すること。

2 許可業種は、下請業者の有する許可のうち、当該下請に必要な業種のみを記載すること。

3 工事内容は、下請に付した工種を管工事、土工事、アスファルト舗装工事等の別に記入すること。

4 下請負者の主任技術者は、その経歴を添付すること。また、国家資格を有する場合には、その資格者証の写しを併せて添付すること。

現場事務所設置届

1 工 事 名

2 工事場所

3 請負代金額 金 円也

4 工 期 着 工 年 月 日から
竣 工 年 月 日まで

別紙のとおり現場事務所を設置いたしましたのでお届けいたします。

年 月 日

坂戸、鶴ヶ島水道企業団
企業長 様

受注者

案 内 図

連 絡 先 一 覧 表

現場事務所所在地			
電 話 番 号			
担 当 者 氏 名	住 所	電 話 番 号	備 考

主要材料業者及び発注先一覧表

1 工 事 名

2 工 事 場 所

3 請 負 代 金 額 金 円 也

4 工 期 着 工 年 月 日から
 竣 工 年 月 日まで

別紙のとおりお届けいたします。

年 月 日

坂戸、鶴ヶ島水道企業団
企業長 様

受 注 者

別 紙

[illegible]

試験結果報告
使用骨材
配合設計計画
書一覽

1 工 事 名

2 工事場所

3 請負代金額 金 円也

4 工 期 着 工 年 月 日から
竣 工 年 月 日まで

上記工事に使用する骨材について次のとおりお届けいたします。

[illegible]

※ 試験結果報告書及び配合設計書を添付すること。

年 月 日

坂戸、鶴ヶ島水道企業団
企業長 様

受注者

檢 查 合 格 証 明 書 等 綴

1 工 事 名

2 工事場所

3 請負代金額 金 円也

4 工 期 着 工 年 月 日から
竣 工 年 月 日まで

上記工事の検査合格証明書等を別添のとおりお届けいたします。

年 月 日

坂戸、鶴ヶ島水道企業団
企業長 様

受注者

材 料 支 給 願

1 工 事 名

2 工 事 場 所

3 工 期 着 工 年 月 日から
竣 工 年 月 日まで

上記工事に使用する材料を別紙のとおり支給願います。

年 月 日

坂戸、鶴ヶ島水道企業団
企業長 様

受 注 者

支 給 材 料 受 領 書

1 工 事 名

2 工 事 場 所

3 工 期 着 工 年 月 日から
竣 工 年 月 日まで

上記工事に使用する材料を別紙のとおり受領しました。

年 月 日

坂戸、鶴ヶ島水道企業団
企業長 様

受 注 者

別 紙

[illegible]

支 給 材 料 精 算 書

1 工 事 名

2 工 事 場 所

3 工 期 着 工 年 月 日から
竣 工 年 月 日まで

上記工事に支給された材料を別紙のとおり使用しました。

年 月 日

坂戸、鶴ヶ島水道企業団
企業長 様

受 注 者

別 紙

[illegible]

材 料 承 諾 願

年 月 日

坂戸、鶴ヶ島水道企業団
企業長 様

受 注 者

工 事 名 _____

上記工事に使用する次の材料について使用して良いか伺います。

使 用 材 料 名	形状寸法又は規格	製 造 業 者	備 考

※ 使用材料の説明書、図面、写真及び性能試験書等を添付すること。

水 圧 試 験 結 果 表

年 月 日

坂戸、鶴ヶ島水道企業団

企業長

様

受 注 者

工 事 名 _____

時 間	試 験 圧 力	時 間	試 験 圧 力
備 考		備 考	
検査年月日	年 月 日	検査年月日	年 月 日
<p>上記水圧試験の結果合格したことを認めます。</p> <p>年 月 日</p> <p>企業団監督員 印</p>			

※ 試験区間を明示した図面、自記録計を使用時には測定記録用紙を添付すること。

使用骨材等数量表

1 工 事 名

2 工事場所

3 請負代金額 金 円也

4 工 期 着 工 年 月 日から
竣 工 年 月 日まで

上記工事に使用した骨材等について次のとおり伝票を添えてお届けいたします。

[illegible]

年 月 日

坂戸、鶴ヶ島水道企業団
企業長 様

受注者

実 施 工 程 表

年 月 日

坂戸、鶴ヶ島水道企業団 企業長 様														
工 事 名														
工 事 場 所 自 至										受 注 者				
工 期 年 月 日から 年 月 日まで														
請負代金額 金 円 也														
										計画工程				
										実施工程				

工 種	数 量	月			月			月			月			月			備 考
		1	0	2	0	2	0	1	0	2	0	2	0	1	0	2	

竣 工 届

1 工 事 名

2 工 事 場 所

3 請 負 代 金 額 金 円 也

4 工 期 着 工 年 月 日 から
 竣 工 年 月 日 まで

5 竣 工 年 月 日 年 月 日

上記工事が竣工したので坂戸、鶴ヶ島水道企業団建設工事標準請負契約約款第31条第1項の規定により通知いたします。

年 月 日

坂戸、鶴ヶ島水道企業団
企業長 様

受 注 者

印

工事目的物引渡書

1 工 事 名

2 工事場所

3 請負代金額 金 円也

4 工 期 着 工 年 月 日から
竣 工 年 月 日まで

上記工事は、坂戸、鶴ヶ島水道企業団建設工事標準請負契約約款第31条第2項の規定による検査に合格したので、同条第4項により引き渡します。

年 月 日

坂戸、鶴ヶ島水道企業団
企業長 様

受注者

建設工事特記仕様書

(趣旨)

第1条 この特記仕様書は、坂戸、鶴ヶ島水道企業団建設工事標準仕様書に定めるもののほか、工事に関し必要な事項を定めるものとする。

(適用)

第2条 この特記仕様書は、次の工事に適用する。

- ・工事名 修繕小穴舗装本復旧工事
- ・工事場所 坂戸市西坂戸 5-5-16 番地先 外 76 箇所

(共通事項)

第3条 受注者は、「資源の有効な利用の促進に関する法律（資源有効利用促進法）」等に基づき、次の対象工事について、工事着手前に本工事に係る「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「工事登録証明書」を建設副産物情報システム（COBRIS）により作成し、施工計画書に含め各1部提出する。また、工事完成後速やかに計画の実施状況（実績）について、「再生資源利用実施書」、「再生資源利用促進実施書」及び「工事登録証明書」を作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を保存する。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

○再生資源利用計画書（実施書）の作成対象工事

- ①500 m³以上の土砂を搬入する工事
- ②500 t 以上の碎石を搬入する工事
- ③200 t 以上の加熱アスファルト混合物を搬入する工事
- ④最終請負代金額 100 万円以上の工事

○再生資源利用促進計画書（実施書）の作成対象工事

- ①500 m³以上の建設発生土を搬出する工事
- ②アスコン塊、コンクリート塊及び建設発生木材の合計で 200 t 以上搬出する工事
- ③最終請負代金額 100 万円以上の工事

2 受注者は、施工計画書に建設廃棄物の処理計画を添付する。なお、建設廃棄物の処分にあたり、排出事業者は処分業者と建設廃棄物処理委託契約を締結し、同契約書の写しを処理計画に添付する。

また、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に収集運搬業者と建設廃棄物処理委託契約を締結する。

3 建設廃棄物については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票（以下「マニフェスト」という。）により、適正に処理されていることを管理するものとする。

4 受注者は、施工後速やかに処理を行い、監督員が求める場合にはマニフェストを提示するものとする。

(建設発生土の搬出)

第4条 建設発生土は、下記に示す条件により工事間利用を図るものとする。

なお、搬出の手続き等は監督員の指示による。

- | | |
|-----------|------------------|
| ア 搬出先 | なし |
| イ 土質及び処分量 | 0 m ³ |
| ウ 搬出時期 | なし |

- 2 受注者は、500 m³以上の建設発生土を搬出する場合は、埼玉県土砂の搬出、たい積等の規制に関する条例（埼玉県土砂条例）に基づき、土砂排出届出書を受理担当窓口へ提出する。
- 3 受注者は、規定様式により工事着手前に搬出先市町村の建設発生土担当窓口あてに建設発生土の搬出情報を郵送・FAX等で提供し、その写しを監督員に提出する。
- 4 受注者が別の施設を選定する場合には、事前に監督員の承諾を得ること。

(建設廃棄物の再資源化等)

第5条 受注者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）に基づいて、特定建設資材（コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト・コンクリート）の分別解体等及び再資源の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等については、設計図書に積算条件を明示しているが、受注者の提示する施設が異なる場合においても設計変更の対象としない。

ただし、現場条件、数量の変更等、受注者の責によるものではない事項についてはこの限りではない。

- 2 受注者は、契約前に「分別解体等の計画等」について、文書で発注者に説明するものとする。
- 3 受注者は、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条第1項に基づき、以下の事項等を別紙「再資源化等報告書」に記載し、発注者に報告しなければならない。

- ・ 特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了した年月日
- ・ 特定建設資材廃棄物の再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・ 特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用

また、同条第1項に基づき、特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施状況に関する記録を作成し、保存しなければならない。

なお、資源有効利用促進法等に基づき再生資源利用実施書、再生資源利用促進実施書を作成している場合は、その写しを参考資料として報告書に添付するものとする。

- 4 受注者は、工事の施工に当たっては、「彩の国建設リサイクル実施指針」を遵守し、建設資材廃棄物の再資源化等に努め、廃棄物の減量を図らなければならない。

(再生資材の利用)

第6条 下記の再生資材を、備考欄の部分に利用すること。

資 材 名	規 格	備 考
再生密粒度アスコン	(13)-50	表層・基層
再生粗粒度アスコン	(20)-50	基層
再生細粒度アスコン	(13)-50	表層
再 生 粒 調 砕 石	40mm以下	路盤材
再 生 切 込 砕 石	40mm以下	路盤材等

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

(趣 旨)

第1条 この特記仕様書は、建設工事標準仕様書、建設工事特記仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水（以下「濁水」という。）の処理に関し必要な事項を定めるものである。

(適 用)

第2条 この特記仕様書は、次の工事に適用するものとする。

- ・工 事 名 修繕小穴舗装本復旧工事
- ・工事場所 坂戸市西坂戸 5-5-16 番地先 外 76 箇所

(濁水の処理)

第3条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。

- ・種類及び処理量 汚泥（油分を含む汚泥）、0.6 m³
- ・中間処理施設 大丸商事株式会社 狭山中間処理場（狭山市広瀬台 2-12-13）
- ・処理方法 中間処理後、最終処分場に搬入（処理に焼却含まず）

2 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。

(共通事項)

第4条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。

2 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と建設廃棄物処理委託契約を締結しなければならないものとする。

3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と建設廃棄物処理委託契約を締結しなければならないものとする。

4 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票（以下「マニフェスト」という。）により、適正に処理されていることを管理するものとする。

(提出書類等)

第5条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第4条第2項及び第3項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。

2 受注者は、施工後速やかに処理を行い、監督員が求める場合にはマニフェストを提示するものとする。

(その他)

第6条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。

2 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。

3 この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

修繕小穴舗装本復旧工事案内図

坂戸市道 No.1~No.47
鶴ヶ島市道 1~29
県道 ①

